

育てる集い」南富良野協会の皆さんによります「エジンバラ公の森公園」の環境整備活動を支援し、自然環境の保全に努めてまいります。

また、石狩川流域46市町村で構成する「石狩川サミット」の第10期南富良野サミットが本町で平成21年度に開催することが決定しておりますので、河川環境の保全と森林整備の必要性や整備財源の確保について、先駆的なメッセージを発信していくためのリーダーシップを取りながら諸準備を進めてまいります。

### にぎわいの南富良野 誇れる産業のまち

次に、農業・林業・商工鉱業など、個性と工夫にあふれる地域産業をめざす、「にぎわいの南富良野 誇れる産業のまちづくり」であります。

### 農業の振興

はじめに農業の振興であります。

わが国の農業は、近年の「担い手」減少や高齢化、食料自給率の低下、作物価格の低迷、輸入食品への農薬混入など食の安全性に対する不安、加えてWTO（世界貿易機関）やEPA（経済連携協定）等の国際規律への対応など、かつてないほど厳しく、多くの課題に直面しております。

こうした状況の中で、国の「食料・農業・農村基本計画」に基づく品目横断的経営安定対策が平成19年度から導入され、農業はまさに一大転換期を迎えているところでもあります。

このようなことから、本年度の農業振興施策については、農業経営者の現状、さらには農業委員会の建議も踏まえ、農業協同組合や農業団体、関係機関とより一層の連携と協力を強め、本町の「農業経営基盤強化促進基本構想」に掲げる安定した農業経営の推進を図るべく努めてまいります。

本年7月に開催されるG8北海道洞爺湖サミットにおいても重要な議題の一つとなっておりますが、その中で、道は、森林吸収源対策として森林環境税の実現を目指すこととしており、間伐や地域の環境保全を目的とした造林など、環境対策の視点から森林整備を積極的に進める姿勢を示しております。

これまで林業は、国産材需要の停滞と価格の低迷から厳しい環境の中で推移してまいりましたが、近年は



世界的な環境対策や森林資源の不足から輸入材が減少しているため、建材などの高付加価値分野でカラマツ等の人工林材の利用が増加しているほか、木質ペレットの利用拡大が進むなど、国産材の価格が徐々に向上してきており、林業の再活性化の兆しが見え始めております。

本町は、総面積の約90%を占める広大な森林を有しており、林業は農業とともに重要な基幹産業であり、森林を整備する中で地域林業生産活動の活性化を推進するとともに、林業労働者の減少や高齢化、担い手対策については、森林整備担い手対策推進事業に引き続き取り組み、森林環境の整備充実と森林資源の有効活用を図りながら森林産業の活性化に努めてまいります。

本年度事業は、町有林の人工林では、育成複層林化を目的とする抜き伐り事業と合わせた樹下植栽事業や除間伐事業、下刈事業を実施するほか、緑資源機構分収造林事業に取り組んでま

で行っておりました新規作物導入事業・地力増強事業・農地融雪促進事業の3事業については、新たに「農業元気づくり事業」として1本に集約し事業の効率化を図るとともに、中山間地域等直接支払交付金事業についても、本年度も引き続き取り組んでまいります。

農地の流動化対策については、農業委員会のご意見とご協力をいただく中で、農用地利用集積計画の策定や農地保有合理化事業の活用を推進し、農地の保全に努めてまいりますとともに、集落営農や農業生産法人などの営農形態について、生産者や農業協同組合と意見交換を進めながら、検討してまいります。

ジャガイモシストセンチュウ対策では、平成19年度も発生は見られませんが、引き続き蔓延防止に努めるため、対策協議会に対する負担金を予算計上いたします。

富良野市や占冠村と歩調を合わせ平成19年度から3箇年を有害獣捕獲重点期間といたします。

天然林についても、引き続き森林資源の有効活用及び林業労働者の雇用対策として、事業収支に配慮しながら択伐事業を推進して行くこととしており、これに伴う調査費を予算に計上いたしました。

民有林の振興については、除間伐促進事業や造林事業を支援するため、引き続き所要の予算を計上いたします。

林道整備では、森林管理道狩勝線の整備に継続して取り組み、道代行事業では、治山事業の保安施設事業として「落合及び幾寅地区町民憩いの森」の森林整備と幾寅地区町民憩いの森では、魚道付き治山ダムの新設、落合地区では既設治山ダムでの魚道の整備並びに北落合地区防風林において植栽による森林整備が予定されています。

道有林事業では、金山地区で133林班の沢小規模治山事業並びに東鹿越地区で140林班の沢小規模治山事業が予定されております。

と設定し、「ふらの農業協同組合」とタイアップしながら農作物の食害防止対策を強化するため、増額した「熊・鹿」捕獲奨励金の継続により個体数の削減を図るとともに、ハンター育成のための免許取得奨励金につきましても引き続き予算に計上いたしました。

新設して負担軽減を図ってまいります。

### 林業の振興

次に、林業の振興であります。

森林が持つ多面的機能は、動植物多様性の保全や地球温暖化の緩和、水源かん養機能、気候緩和及び大気の浄化など、人々の生活には欠かせないので、役割を果たして、また、国際的にも温暖化対策として、森林がもたらす大きな効果への期待が高まっております。

です。

### 商工鉱業の振興

次に、商工業の振興であります。

町内の商工業を取り巻く環境は、過疎化・少子高齢化や消費の多様化、購買力の流出により、依然として厳しい状況が続いており、さらには公共事業の減少や新築する個人住宅などの減少で、商工業全体として一段と厳しい環境にあります。

商工振興については、行政予算執行の際には、効率的な予算の執行に留意し、町内の消費向上等を図りながら商工業の振興に努めてまいりますとともに、商工会の育成強化については、商工会の財政効率をより一層求める中で、商工振興事業の予算を計上し、経営改善普及事業や地域振興事業の推進強化と併せて、町内における消費向上対策についても具体的な取組みを求めてまいります。

また、商工会の事務局体制について、本年4月に経営指導補助員の人事異動に

より欠員が生じることから、商工会より町職員の派遣要請があり、縷々検討した結果、職員の研修及び商工会に対する人的支援と連携強化を図るため職員を派遣することといたしましたので、この関係条例について、本定例町議会に提案させていただきます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

商工業者等の資金円滑化を図るため実施している町融資及び利子・保証料補助事業については、本年度も引き続き取り組んでまいります。また、創業支援のための商工業振興起業促進事業についても、本年3月末で期限を迎えますが、町内商工業の振興のために必要な施策であり、新たな制度として、議会や商工会などのご意見をいただきな